

助成事業名 各務原映画祭事業 (まちづくり助成2年目：各務原映画祭実行委員会)

事業概要 地域に根差した映像(まちおこし映画)を制作する団体に呼びかけ、各務原市内で映画祭を開催することで、各務原の魅力発信に繋げる。

実施内容



1. 作品募集、作品選出、

- ・前回参加した映画関係者に作品募集を告知。
- ・作品選定チームのリサーチにより候補作品を推薦。
- ・募集要項をウェブ掲載し、応募専用フォームを開設。
- 群馬県から熊本県まで9県12地域から13作品のラインナップを決定。

2. 上映会周知

- ・ウェブサイトリニューアル、上映作品とスケジュールを公開。
- ・チラシ8,000部を、市内・市外・県外施設などで配布。
- ・たんとん12月号に有料広告掲載。
- ・地元新聞社にプレスリリース→2社掲載。

3. 上映会開催(あすかホール)

開催日：12/22(日) 12:00~18:30

来場者：279名(一般245名、出品者13名、スタッフ21名)

- 内容：入場無料で4部に分け13作品を上映。
各上映作品関係者によるトークライブ、
市内撮影作品・ロケ地紹介パネル展示を同時開催した。
入退場をチケット制とし予約可能な枠も設けた。

4. 交流会開催(産業文化センター2-4会議室)

開催日：12/22 19:00~21:00

参加者：29名(出品者10名、スタッフ19名)

感想・意見：

- 「賞がない映画祭だから気軽に上映できる」
- 「地方映画祭でこれだけの来場があるのは珍しい」など

5. フィードバック・反省会(那加西福祉センター)

開催日：12/27 19:00~21:00

参加者：13名

- 内容：アンケート集計を実施、次年度課題を共有した。

事業成果

アンケート結果：満足86%、市外県外49%、2回目参加：32%

「見慣れた街が新鮮な風景に見えた」

「今回の映画祭で各務原市を初めて知った。名古屋から近いことも分かったので、観光名所をもっと勉強したい」

「2回とも参加し、まちおこし映画ならではの良さが観られるので、今後も定期的に開催して欲しい」などの声が得られた。

多様な人材がまちづくりに参画できるように地方創生の鍵となる「関係人口」の創出と拡大を地域課題として提起したことに対し、

- ① 映画祭運営の窓口を広げることで、20代~80代の37名がスタッフに加わった。
映画祭の開催趣旨に共感した俳優の津田寛治氏がスペシャルゲストとして来場した。
- ② 群馬県から熊本県まで9県12地域から13作品を上映した。制作に関わった人々のトークライブを実施し、作品に込めた思いや地元の魅力などをPRする機会を提供した。
- ③ 入場料無料や入退場を自由にしたことで、気軽に来場できる雰囲気を作った。
商業映画とは異なる地域映画の魅力を伝え、市民が新たな映像文化に触れる機会を提供できた。
- ④ 市内で制作された映像作品のロケ地をパネルで紹介し、舞台となった施設や名所の観光パンフレットを設置したことで、興味を持っていただけた。

収支報告 事業費総額 528,964円 / 助成金交付確定額 150,000円

助成経費内容 機材レンタル料、広告掲載料、アンバサダー交通費、上映作品提供謝礼、司会謝礼、会場使用料、チラシ制作費・印刷費、パンフレット制作費・印刷費、消耗品、保険料